

# 観光と住民意識に関する調査

---

2022.11.21

株式会社かまいしDMC

# 調査概要

- ✓ 郵送方式
- ✓ 18歳～70歳の釜石市民のうち、1,364人を無作為抽出
- ✓ 有効回答数は、341名（25.0%）

調査名	釜石市観光振興ビジョン実施計画策定のための「観光と住民意識に関する調査研究」
調査目的	市民の皆様の考えをお伺いし、今後の釜石市の観光地域づくりに役立てること
調査手法	郵送調査
調査対象	釜石市在住の18歳以上70歳未満の中から、2022年7月31日時点のデータを基に、1,364人を無作為抽出
調査期間	2022年9月5日（月）～9月22日（木）
回収数	408名（29.9%）
有効回答数	341名（25.0%）

釜石市観光振興ビジョン実施計画策定のための  
「観光と住民意識に関する調査」  
アンケートへのご協力のお願い

日頃より、市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
釜石市では、平成29年度から令和8年度までを計画期間として「釜石市観光振興ビジョン」を策定し、観光地域づくりに取り組んでおります。  
このアンケート調査は、市民の皆様の考えをお伺いし、今後の釜石市の観光地域づくりに役立てることを目的として、釜石市から(株)かまいしDMCに調査を委託し実施するものです。

アンケート回答に関するお願い

- ◆ ボールペンやペンなどでご回答ください(消えないようにしてください)。
- ◆ すべての質問にお答えください。
- ◆ ご回答者がどう思うかを伺う内容ですので、深く考えずに直感でお答えください。
- ◆ 回答が終了しましたら、ホッチキスは必ず調査用紙ごと同封の返信用封筒に入れて封をし、投函してください。
- ◆ 対象者は、釜石市内にお住まいの18歳以上70歳未満の方の中から、令和4年7月31日現在のデータを基に、1,400人を無作為に抽出しております。
- ◆ ご回答いただいた内容は、集計して分析に使用しますので、回答者個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外には使用いたしません。
- ◆ **令和4年9月22日(木)までにご投函くださいますようお願いいたします。**  
(切手は不要です)

本調査についてご不明な点、疑問点などありましたら下記までお問合せ下さい。

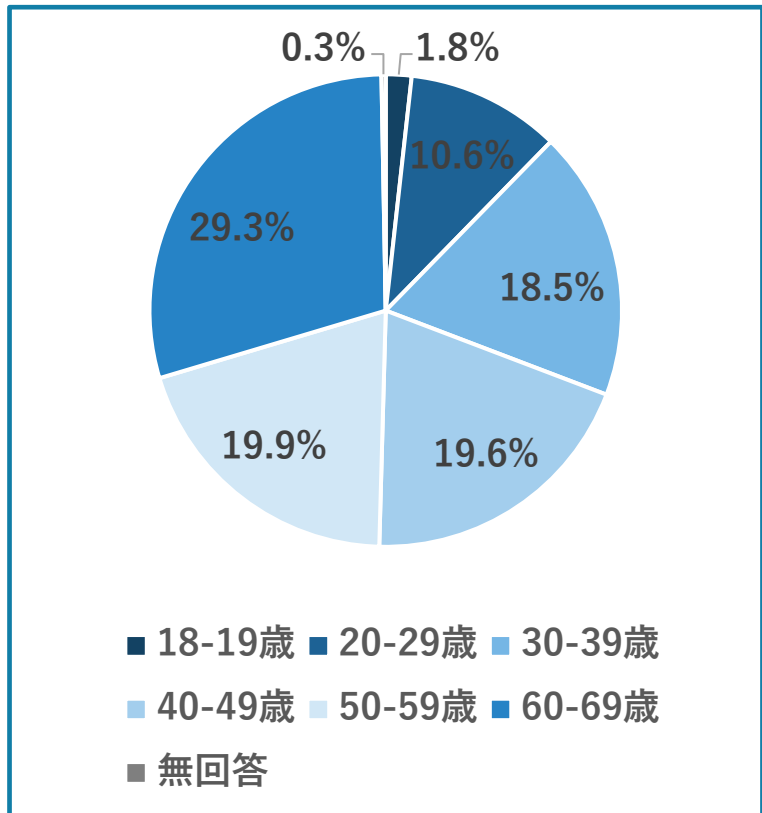
【観光振興ビジョンに関する問い合わせ先】  
委託元：釜石市産業振興部商工観光課（岩手県釜石市只越町3丁目9番13号）  
電話番号：0193-27-8421（平日 8:30～17:15）

【アンケート内容に関するお問合せ先】  
委託先：株式会社かまいしDMC（岩手県釜石市魚河岸3番3号）  
電話番号：0193-27-5260（平日 9:00～17:00）

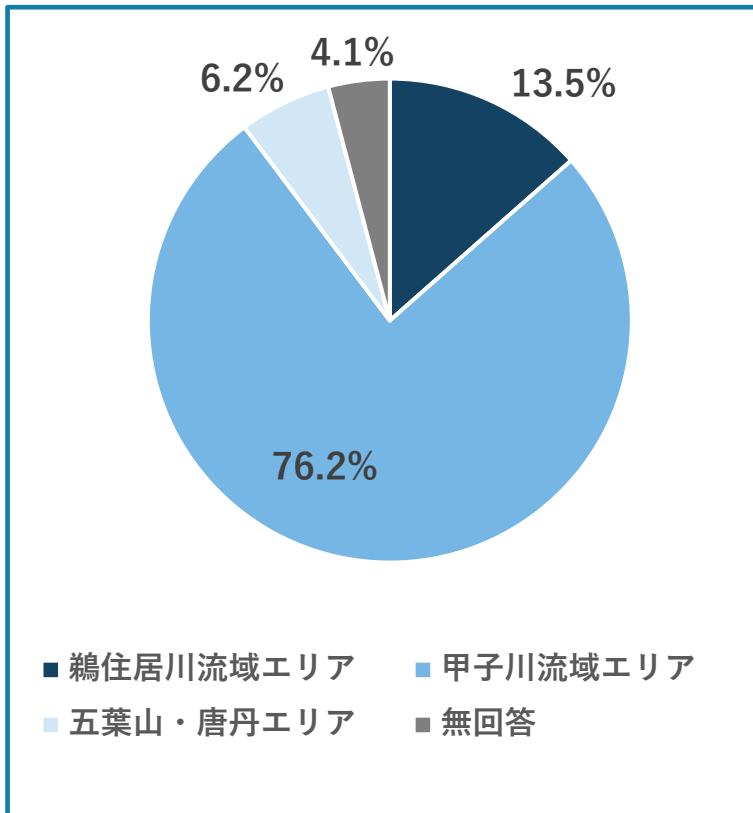
# 有効回答者の概要

- ✓ 回答者の年齢割合は、10代～40代が約50%、50代～60代が約50%を占めている。
- ✓ 回答者の居住地区割合は、甲子川流域エリアが約75%を占めている。
- ✓ 回答者のうち、釜石出身は約75%である。

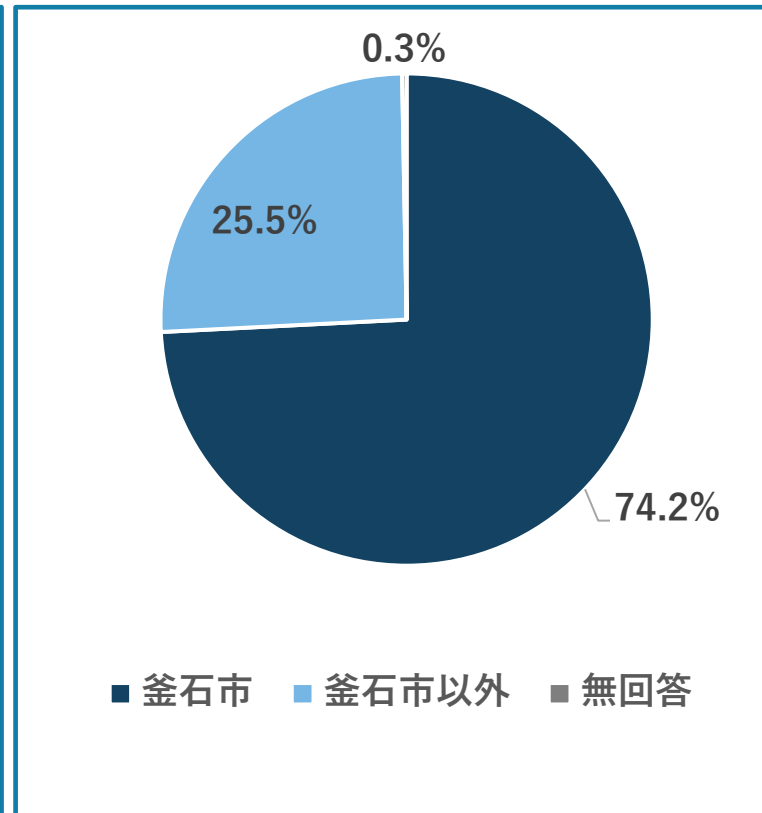
< 年齢 >



< 居住地区 >



< 出身地 >

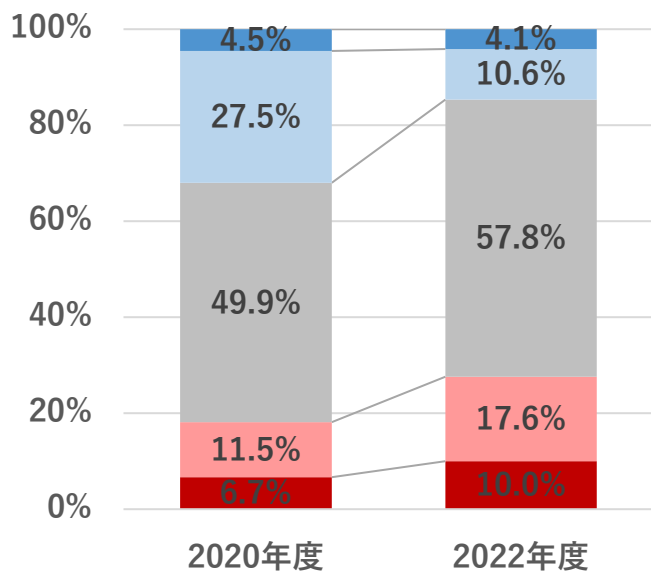


# 「住まう誇り」と「人を迎える意識」

- ✓ 「持続可能な地域づくり」に向けた重要な指標として、「住まう誇り」と「人を温かく迎える意識」を設定し、定期的なモニタリングを実施。
- ✓ これらの指標のポジティブな割合を高めていくことが、今後の観光振興の目的のひとつ。

## 釜石市民としての誇り

(Q. 釜石で暮らすことは誇りである)

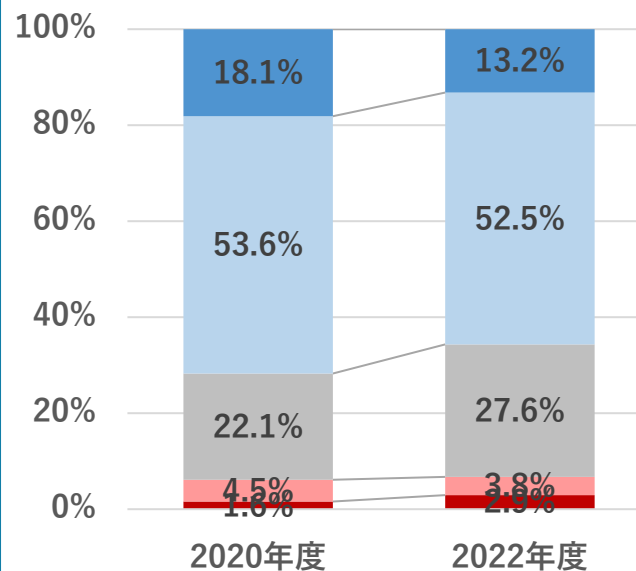


■ まったくそう思わない ■ そう思わない  
 ■ どちらとも言えない ■ そう思う  
 ■ とてもそう思う

- ✓ 今回調査では、全体として、ネガティブな割合が、ポジティブな割合を上回った。
- ✓ 前回と比較して、ポジティブな意見が低くなり、「どちらとも言えない」及びネガティブな意見が高まった。

## 人を温かく迎える意識

(Q. 今後、多くの日本人観光客に訪れてもらいたい)

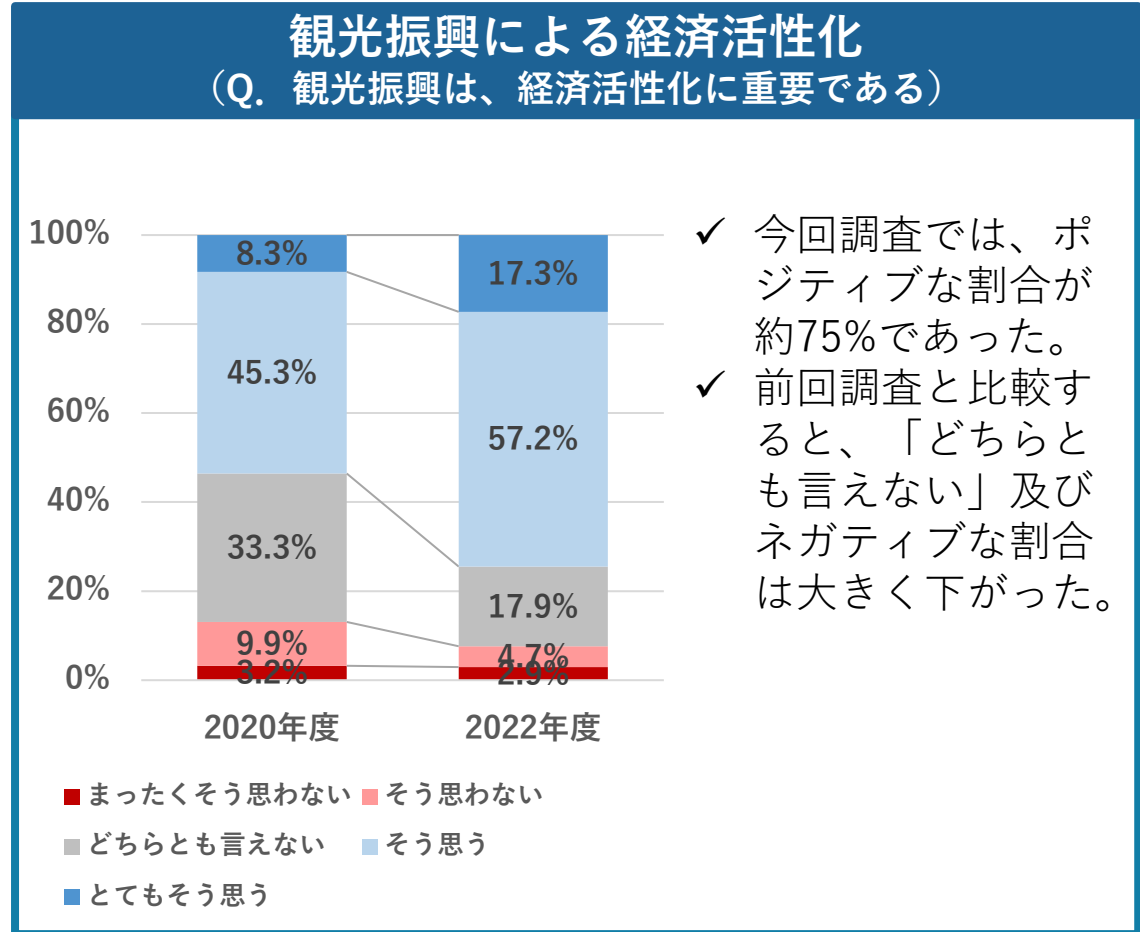
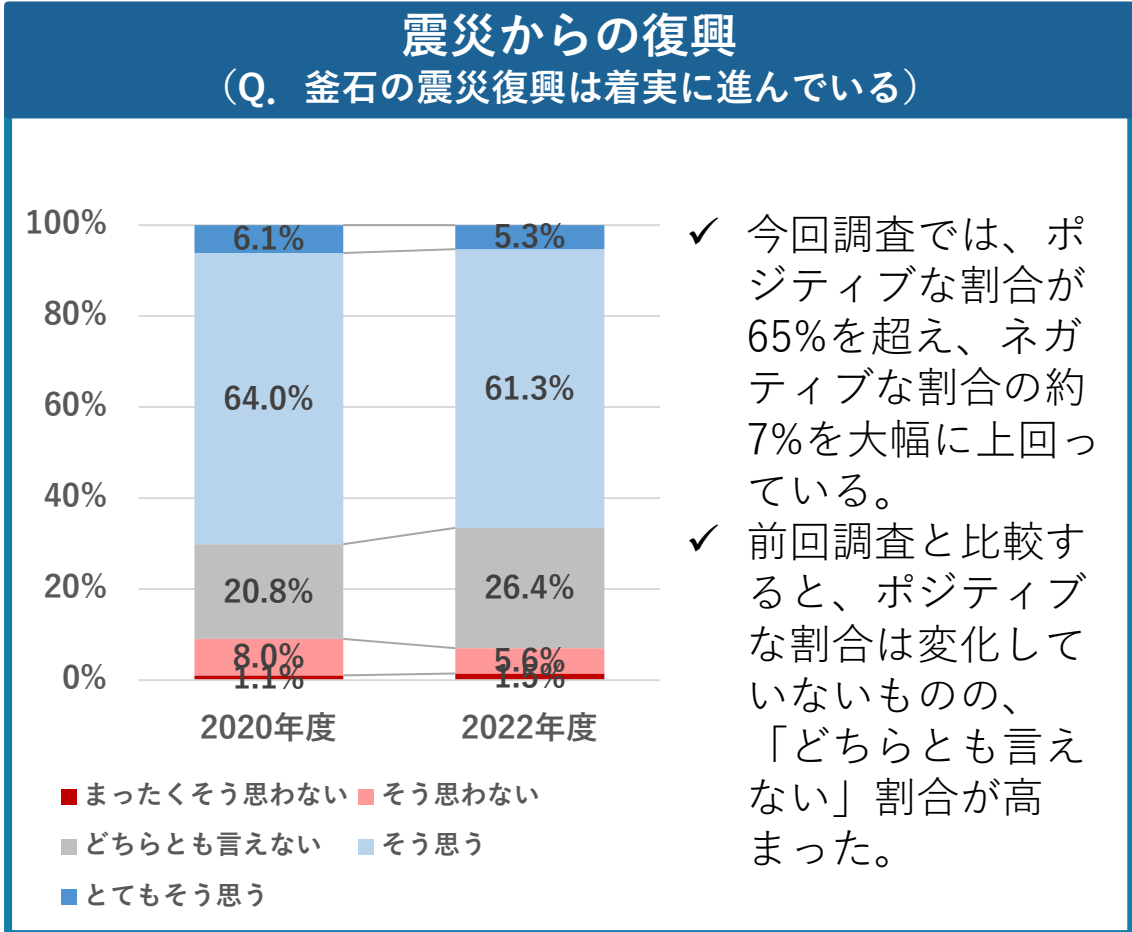


■ まったくそう思わない ■ そう思わない  
 ■ どちらとも言えない ■ そう思う  
 ■ とてもそう思う

- ✓ 今回調査では、全体として、前回調査と同様に、ポジティブな割合が65%を超え、ネガティブな割合を大きく上回っている。
- ✓ 構成割合に大きな変化はないものの、「どちらとも言えない」割合が高まった。

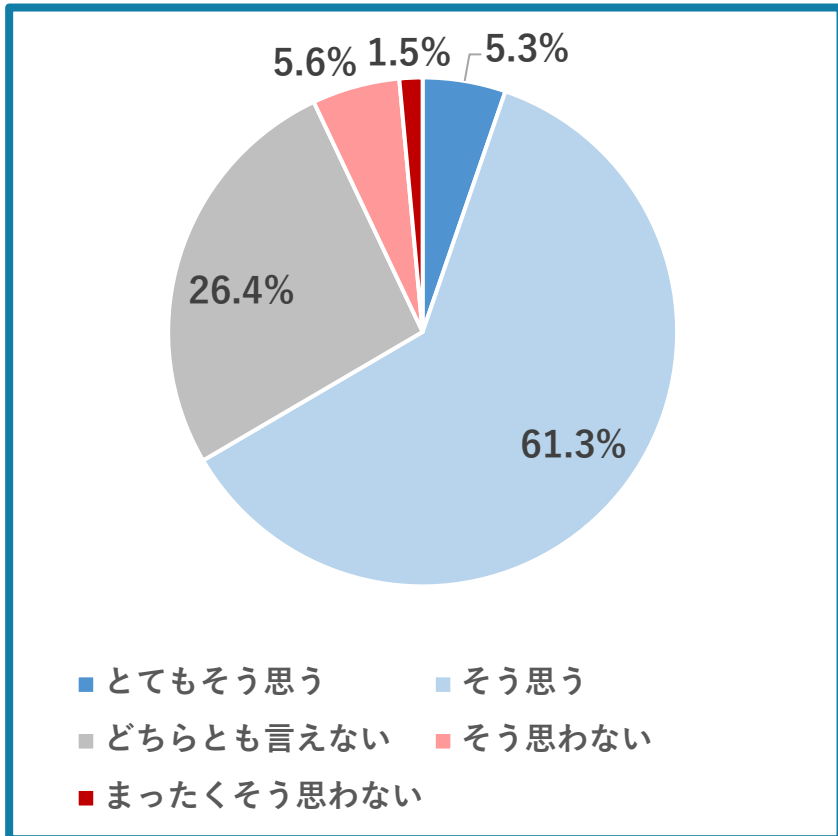
# 「震災からの復興」と「観光振興による経済活性化」

✓ 「震災復興」について、約65%以上が「釜石の震災復興は着実に進んでいる」と実感している。全体の約75%が「観光振興による経済活性化の重要性」を感じており、前回調査と比較すると、ポジティブな割合が大きく増加している。

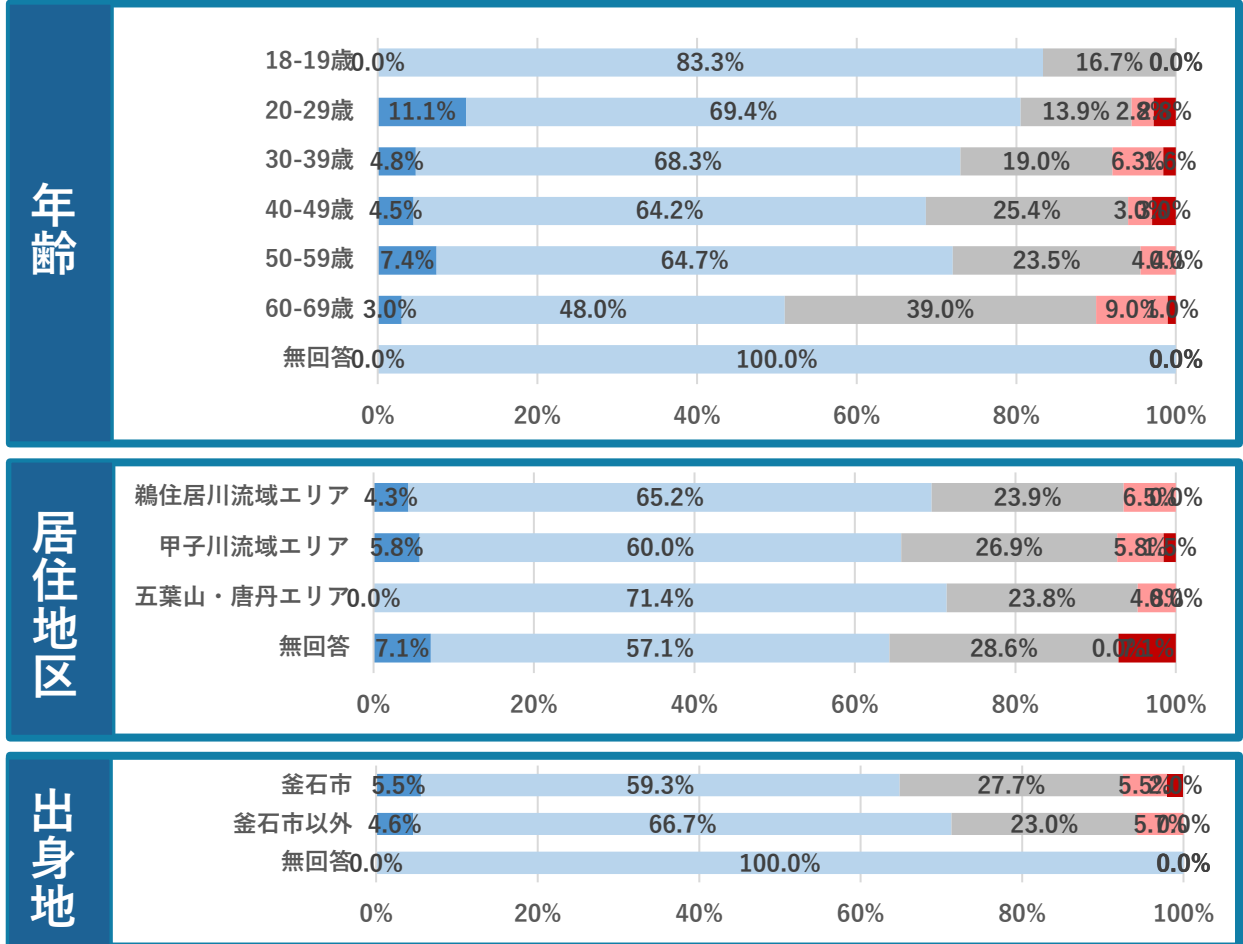


# Q2-1. 釜石の震災復興は着実に進んでいる

- ✓ 全体の65%以上が、「釜石の震災復興は着実に進んでいる」と考えており、ネガティブな割合の約7%を大幅に上回っている。
- ✓ 年齢別では、20代～40代の若い世代のポジティブな割合が高い。

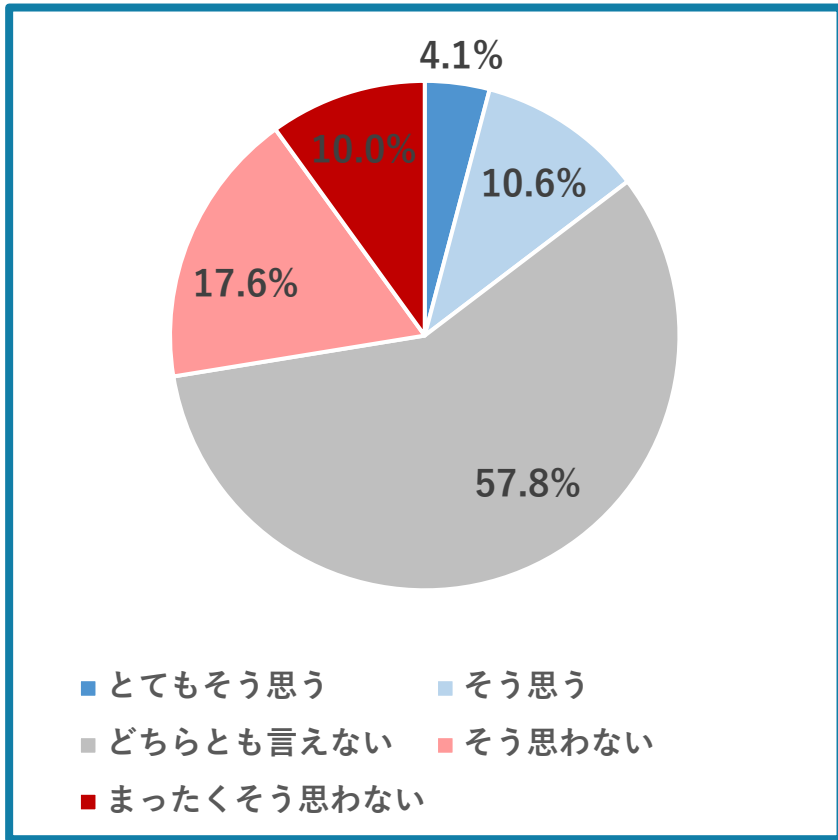


## セグメント分析

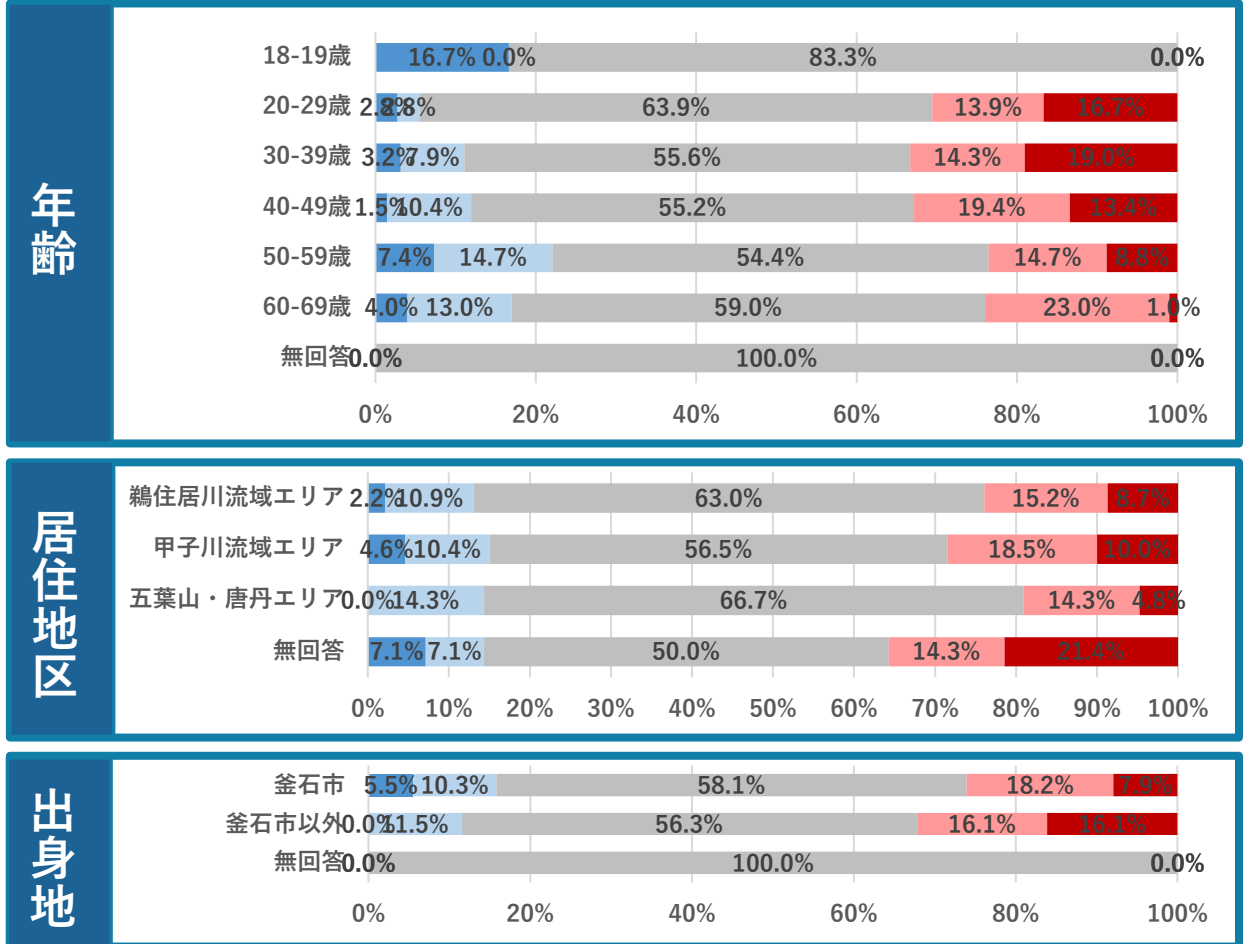


# Q4-3. 釜石で暮らすことは誇りである

- ✓ 全体の約15%が「釜石で暮らすことは誇りである」と感じている。
- ✓ 年齢別では、年齢が上がるにつれて、ポジティブな割合が高くなる傾向にある。
- ✓ 「釜石市」出身の方が、「釜石市以外」出身者よりポジティブ割合が高い。

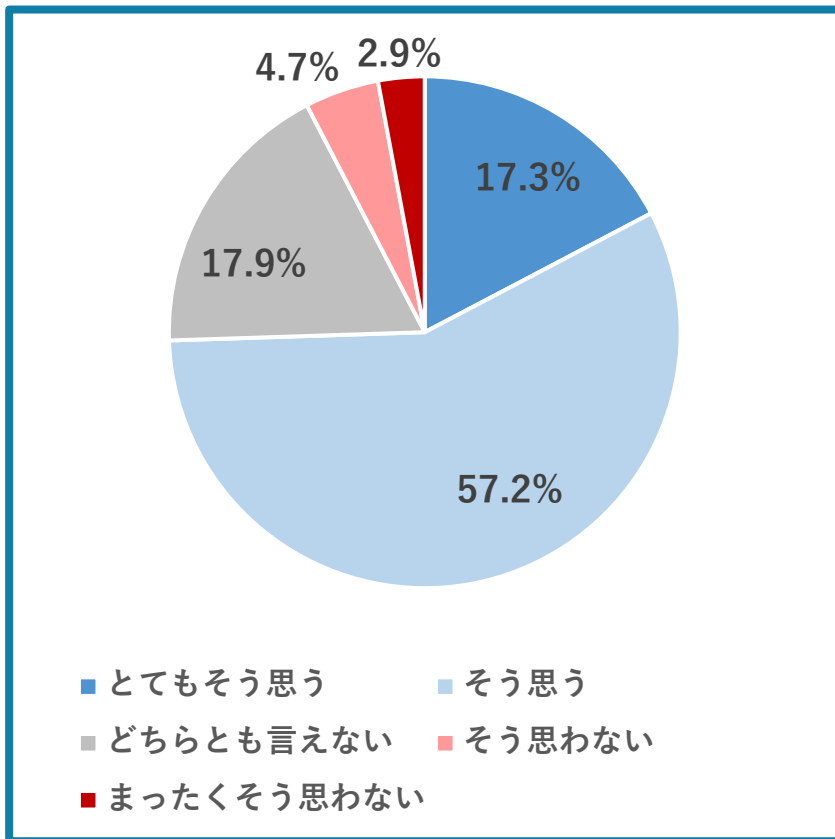


## セグメント分析

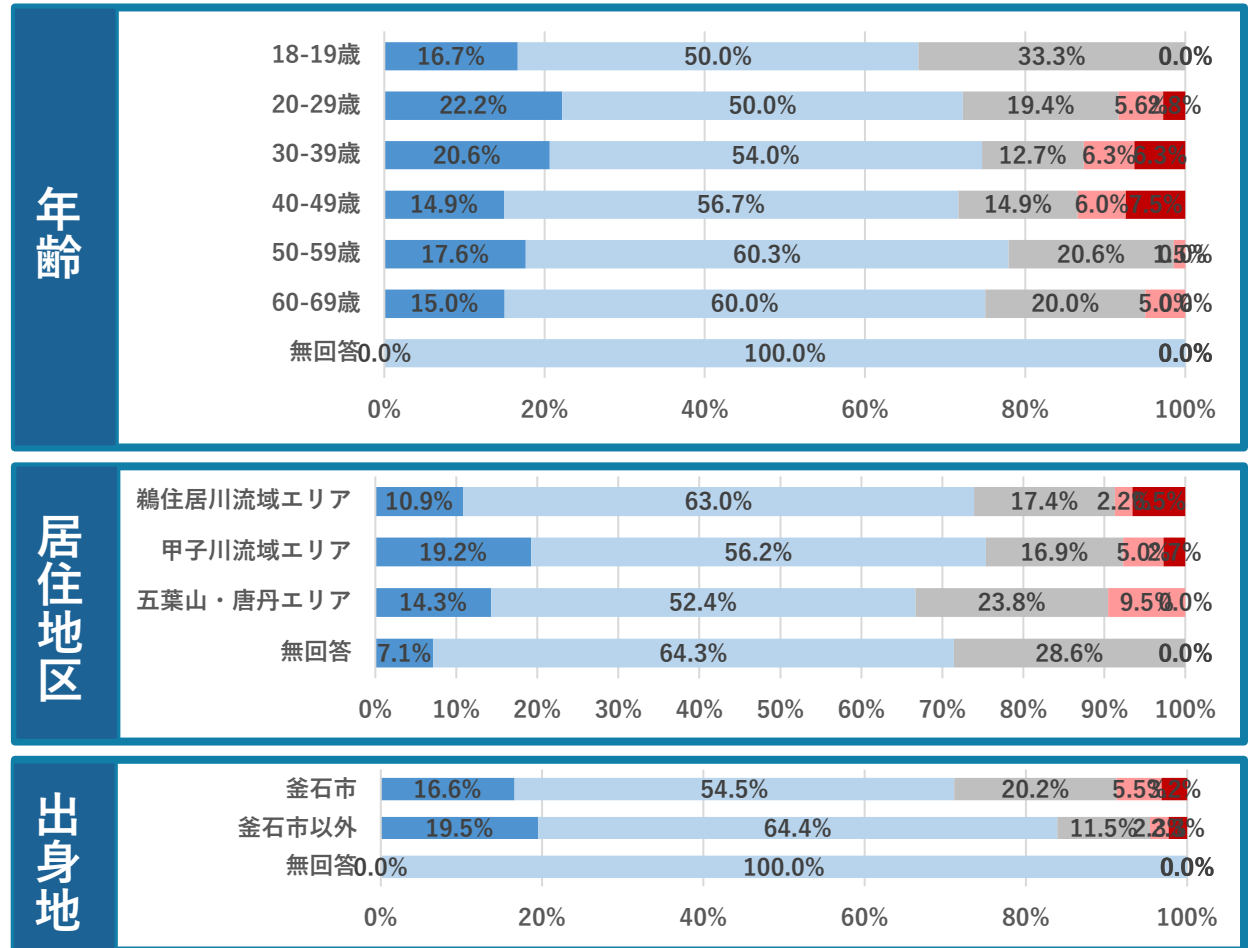


# Q5-3. 観光振興は、経済活性化に重要である

- ✓ 全体の約75%が、「観光振興は、経済活性化に重要である」という意見を持っている。
- ✓ 年齢別、居住地区別の構成割合に大きな差はみられない。
- ✓ 「釜石市以外」出身者の方が、「釜石市」出身者よりポジティブな割合が高い。



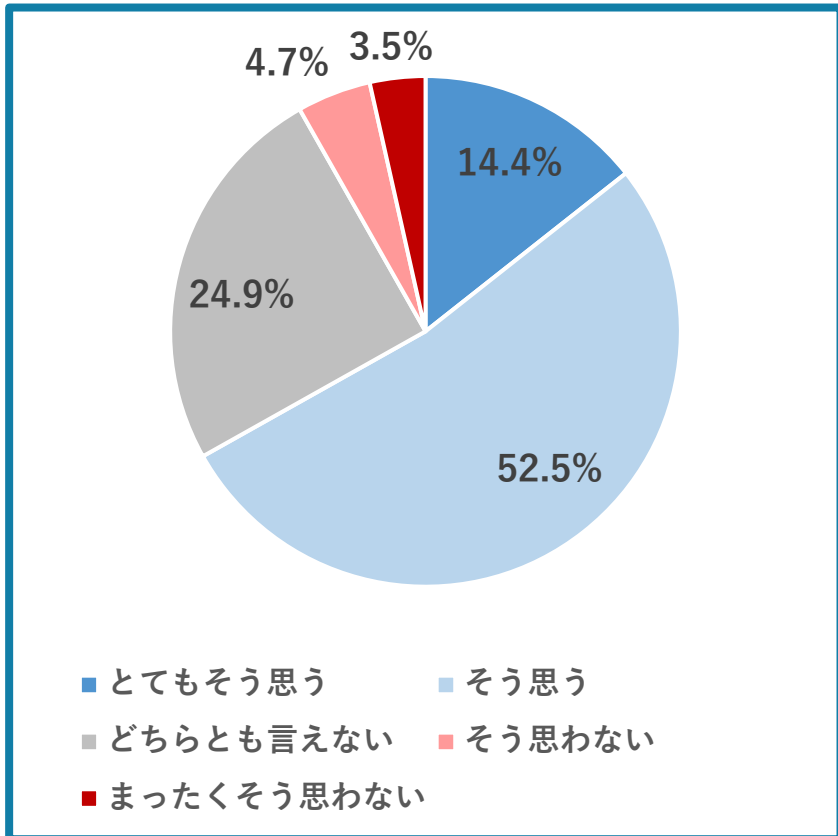
## セグメント分析



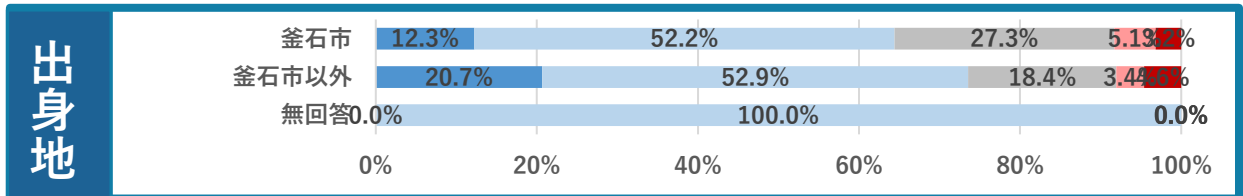
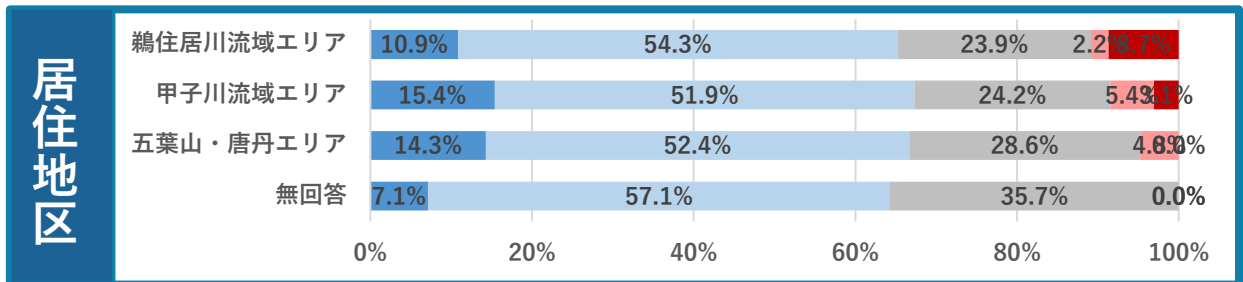
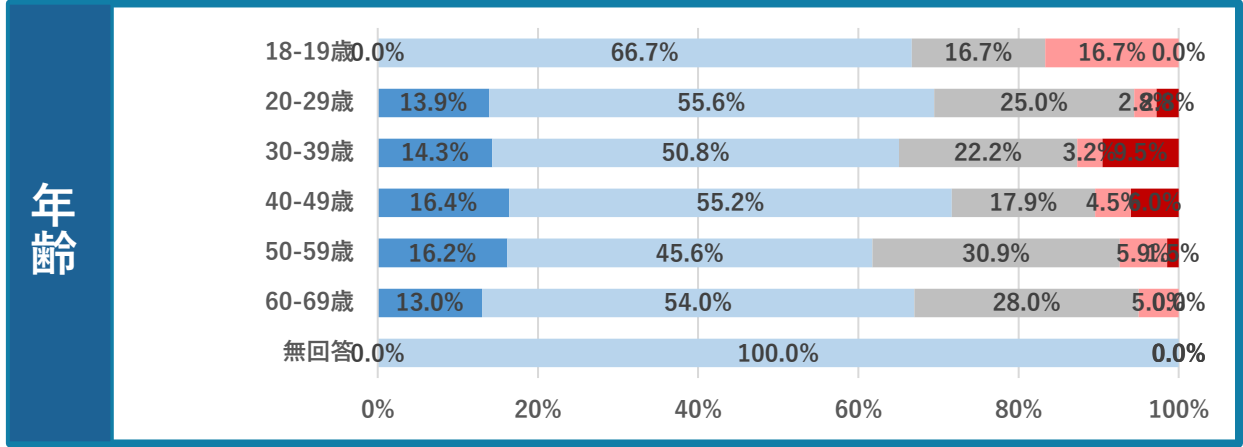


# Q5-6. 観光振興は、震災復興にとって重要である

- ✓ 全体の65%以上が、「観光振興は、震災復興にとって重要である」という考えを持っている。
- ✓ 年齢別、居住地区別では、構成割合に大きな差はみられない。
- ✓ 「釜石市以外」出身者の方が、「釜石市」出身者よりポジティブな割合が高い。

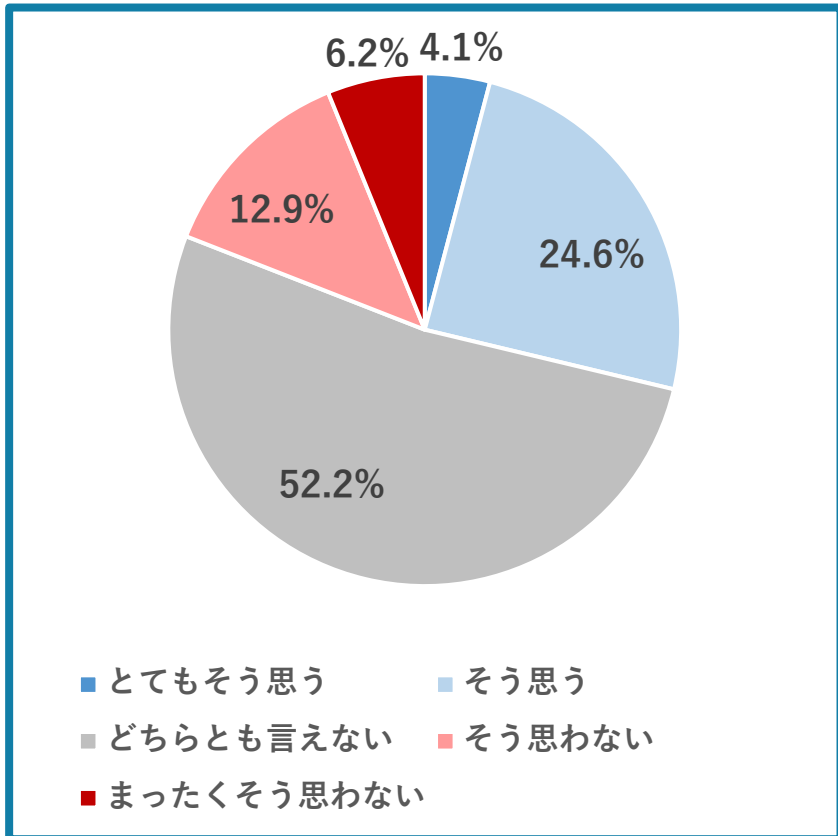


## セグメント分析

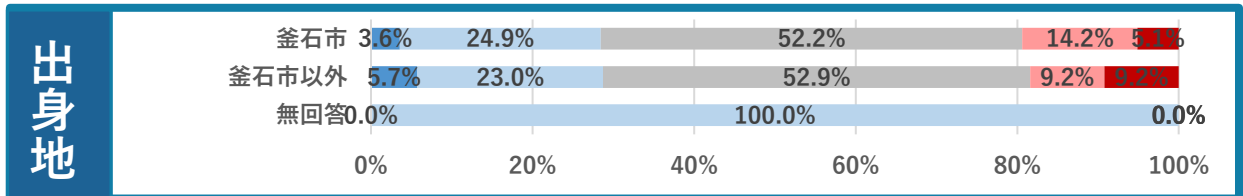
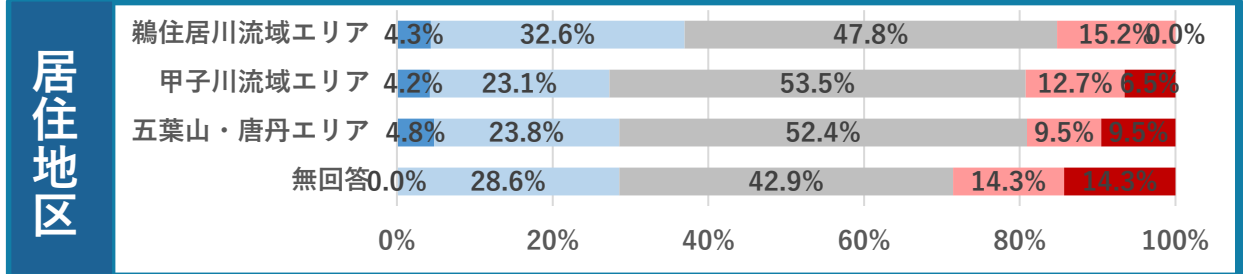
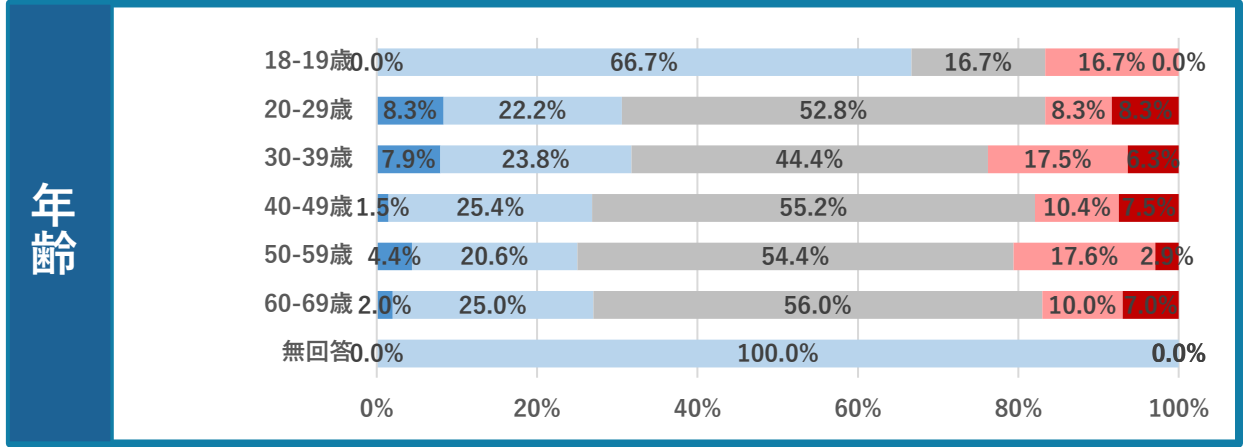


# Q6-2. かまいしDMCは、観光振興のために真剣に取り組んでいる

✓ 全体の約30%が、「かまいしDMCは、観光振興のために真剣に取り組んでいる」と考えており、ネガティブな割合の約20%を上回っている。この一方で、「どちらとも言えない」割合が50%を超えている。

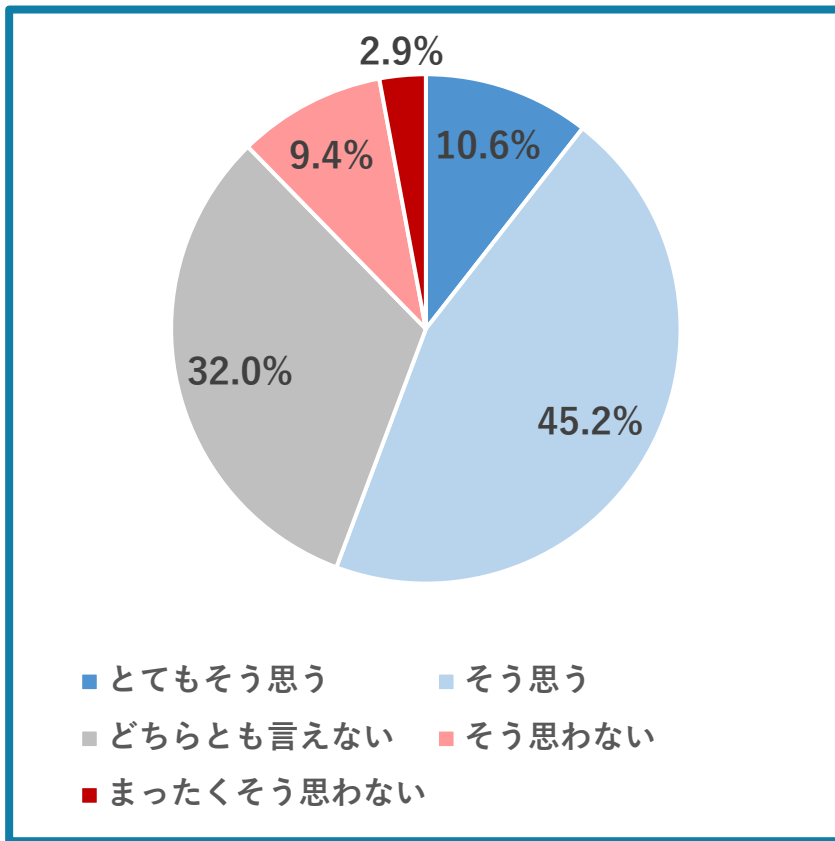


## セグメント分析

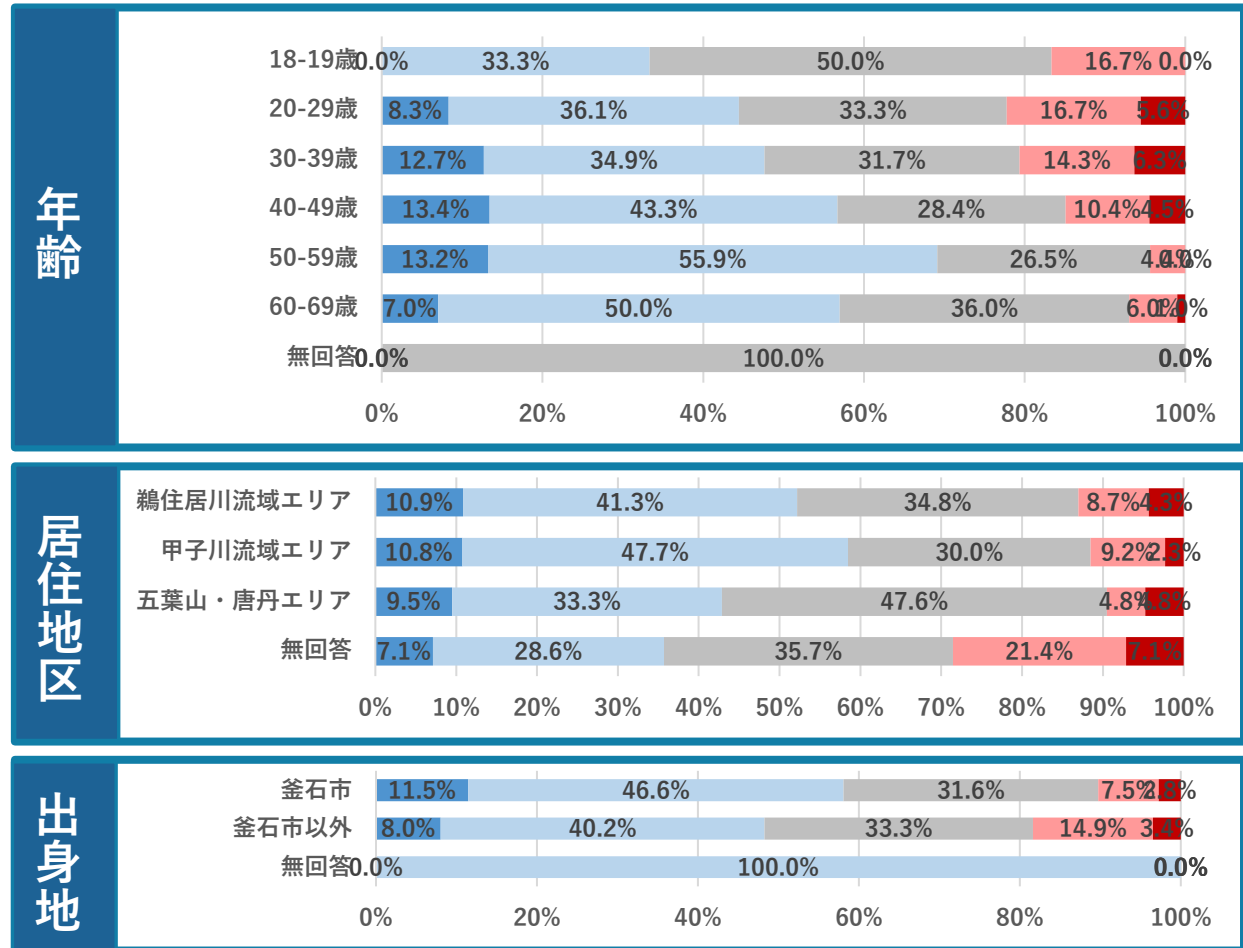


# Q7-1. 今後、釜石へ多くの人に移住してほしい

- ✓ 全体の55%以上が、「今後、釜石へ多くの人に移住してほしい」という考えを持っている。
- ✓ 年齢が上がるにつれて、ポジティブな割合が高くなる傾向がみられる。
- ✓ 「甲子川流域エリア」は、他エリアよりポジティブな割合が高い。

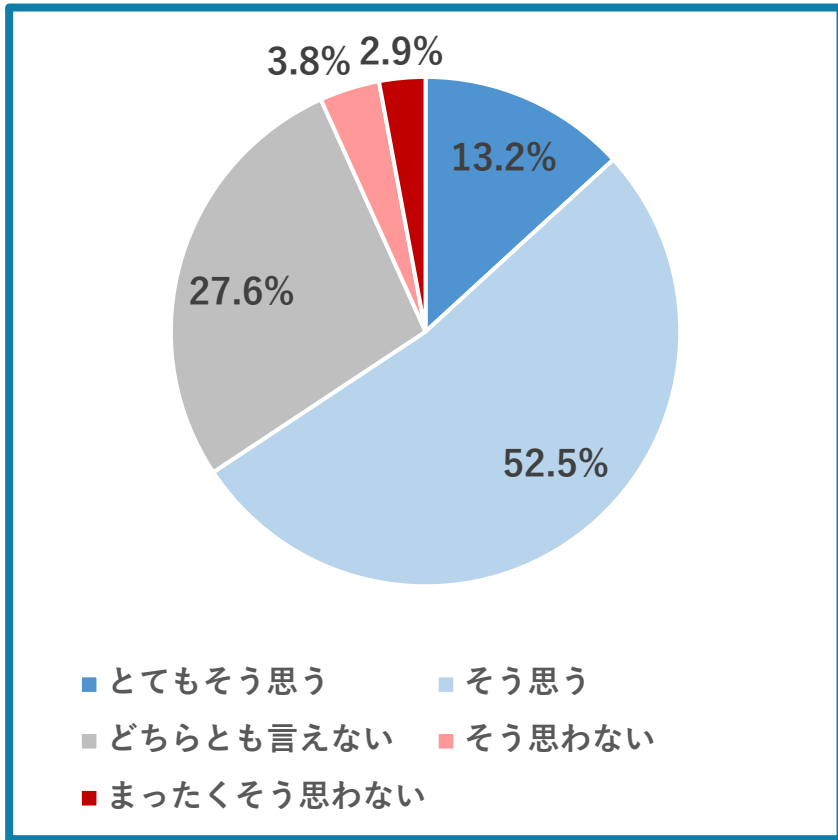


## セグメント分析

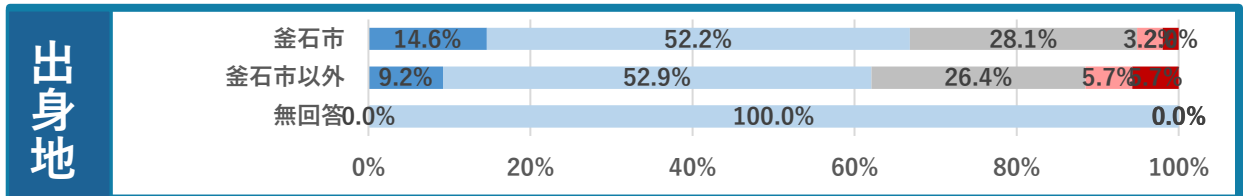
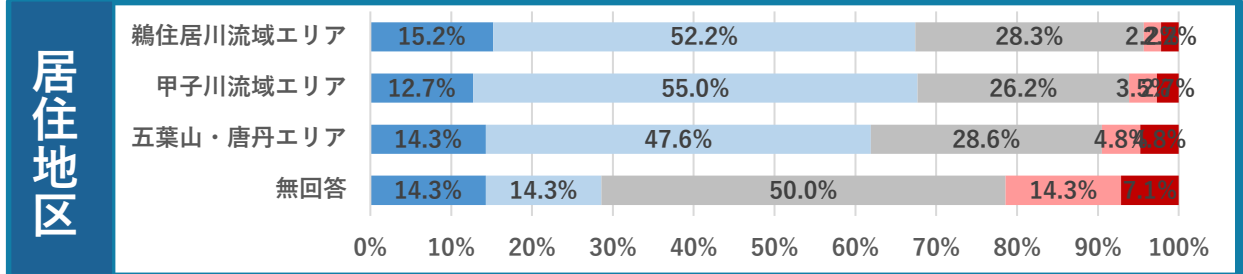
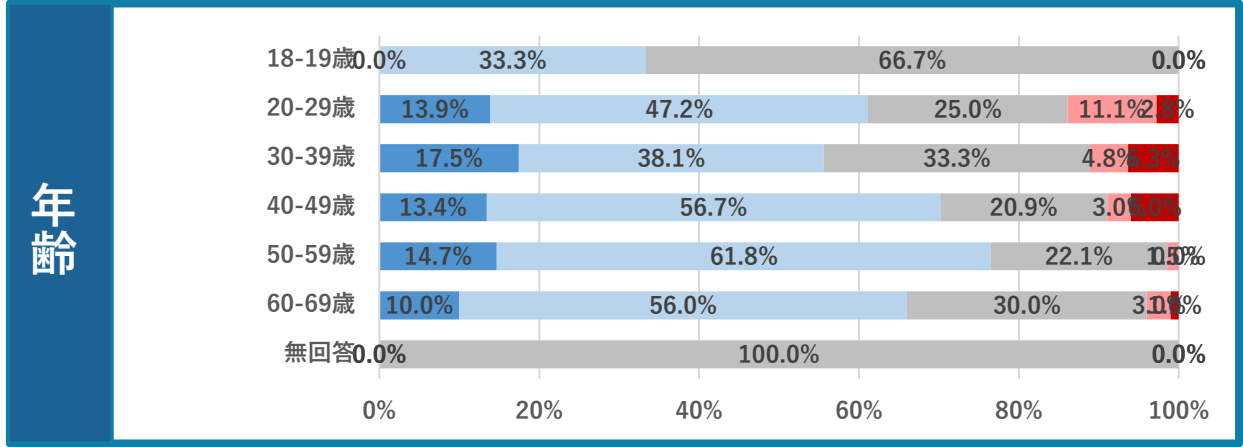


# Q8-1. 今後、多くの日本人観光客に訪れてもらいたい

- ✓ 全体の約65%が「今後、多くの日本人観光客に訪れてもらいたい」という考えを持っている。
- ✓ 年齢が上がるにつれて、ポジティブな割合が高くなる傾向がみられる。
- ✓ 「釜石市」出身の方が、「釜石市以外」出身者より、ポジティブな割合が高い。

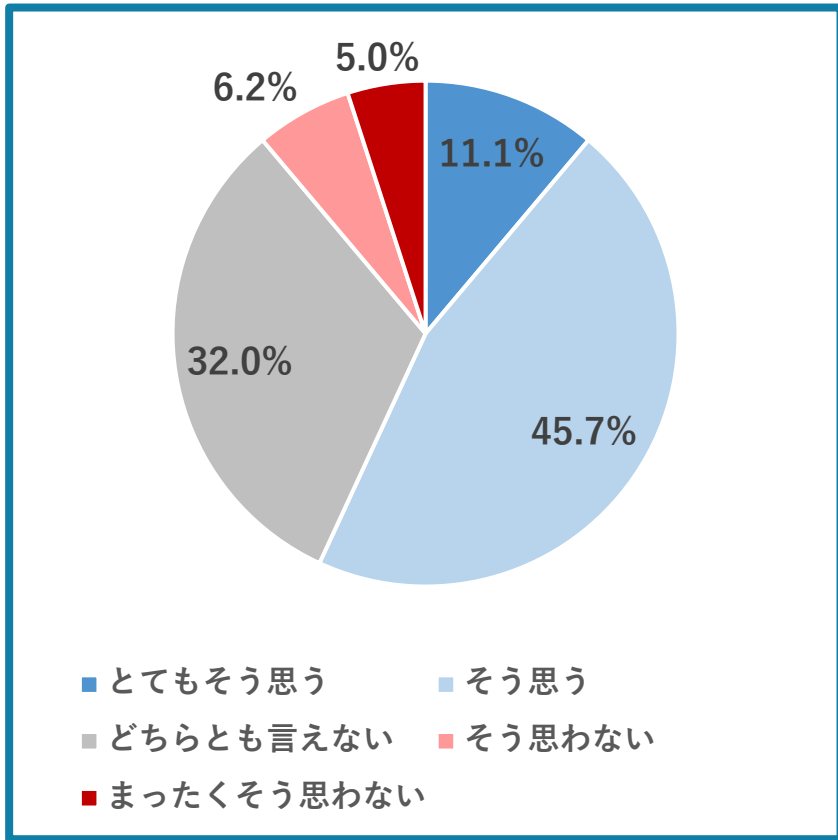


## セグメント分析



# Q8-2. 今後、多くの外国人観光客に訪れてもらいたい

- ✓ 全体の約55%が「今後、多くの外国人観光客に訪れてもらいたい」という考えを持っている。
- ✓ 年齢別では、20代、40代、50代のポジティブな割合が高い。
- ✓ 「釜石市」出身の方が、「釜石市以外」出身者より、ポジティブな割合が高い。



## セグメント分析

